

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム

第5期(2010-2011年度)総会

開催日時	2010年10月25日(月) 14:00~15:30
開催場所	都道府県会館 4階 410会議室

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム(DAAS)

第5期(2010-2011年度)総会次第

開催日時:2010年10月25日(月) 14:00~15:30

開催場所:都道府県会館 4階 410会議室

1 開会挨拶

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム 理事長 槇 文彦

2 来賓挨拶

国土交通省 大臣官房審議官 井上 俊之 氏

3 議 事

議案1 第4期(2009-2010年度)事業報告及び収支決算について

資料1 第4期(2009-2010年度)事業報告

資料2 第4期(2009-2010年度)収支決算

監査報告

資料3 監査報告書

議案2 第5期(2010-2011年度)事業計画及び収支予算について

資料4 第5期(2010-2011年度)事業計画

資料5 第5期(2010-2011年度)収支予算

議案3 理事・監事選任の件

資料6 第5期・第6期 理事・監事名簿

4 報 告

資料7 会員名簿変更について

資料8 規約第7条第4項に基づく指定代表者の変更について

5 閉 会

議案1 第4期(2009-2010年度)事業報告
及び収支決算について

資料1 第4期(2009-2010年度)事業報告

資料2 第4期(2009-2010年度)収支決算

監査報告

資料3 監査報告書

第4期（2009年10月～2010年9月）の活動について

2010年10月25日

DAAS運営委員長 三塩 達也

初秋の候、皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

本総会におきまして第4期（2009年10月～2010年9月）の活動状況を報告させていただきます。

活動の中心となる受賞作品の写真収蔵については、2011年までの5年間でDAASの「始動（初動）期」と位置づけ設定した目標点数に向けて、収蔵事業を粛々と進めて参りました。目標は第4期と第5期の2年間で収蔵点数4000点を追加して、総数1万点を収蔵するアーカイブに育てるというものでした。そのために今期は、収蔵事業に集中的に注力するという活動にしました。

収蔵コンテンツの拡充と事業費の確保という両面から、昨期からはじめて国庫補助金事業としては、JIA・KIT建築アーカイブスに所蔵されている歴史的街並みのサーベイト図面のデジタル保存を実施しました。伝統的建造物情報のデジタル化に関しては、現在協議会*1)と意見調整中です。

事務局は、所在地を（財）ベターリビングの移転に伴い平河町に移し、機動力のある新たな事務局となりました。事務局会議は昨期同様に毎月開催され、国庫補助金事業と受賞作品の収蔵事業を同時に進めています。

これらの活動の他、今期は会員団体である（社）日本建築士会連合会及び（社）日本建築家協会の全国大会等においても、シンポジウムへの参加、ウェブのデモ、展示パネルによる収蔵作品の紹介等を行いました。また、近々2011年9月に開催されるUIA東京大会のウェブサイトにも本活動が紹介され、世界中に本アーカイブスの存在が知られることとなります。

今後、さらに会員を増やすことで事業の安定的活動環境を整えることはもちろんですが、長期的視野に立つと、高いデジタル技術を持つ建築系の学生を刺激し、本活動に対する将来の良き理解者となってもらふ必要を感じています。また多様な建築ファンをターゲットにした新たな動きであるJIA・KIT建築アーカイブス、金沢工業大学・建築アーカイブス研究所との連携を実績として、更なる学術組織のアーカイブスとの情報交換や資料提供を図っていきたいと考えています。日本で唯一の建築デジタルアーカイブスとして、日本が誇る建築文化の情報発信のためにも、その存在価値、利用価値を高めていきたいと思ひます。

会員皆様方におかれましては、そのための積極的なご協力と建設的なご意見を、今まで以上に事務局へお寄せ下さいますようお願いいたします。

*1) 全国伝統的建造物群保存地区協議会

第 4 期（2009-2010 年度）事業報告

1. 概要

第 4 期は「収蔵事業拡大」「Web サイトのデザイン改修・機能拡張」「事務局体制の整備」の 3 点に重点をおいて活動を進めた。

資料収蔵事業に関しては、会員団体が主催する表彰事業の受賞建築作品資料、オープンライアンス活動で協力を得ている JIA・KIT 建築アーカイブスの図面資料、その他ビデオ制作に関連して建築家より提供をうけた動画や写真資料等、計 2,000 点以上のデジタル化資料を収蔵した。UIA 2011 TOKYO にむけて計 10,000 点以上の資料を保有するデジタルアーカイブとなることを掲げた中期事業計画の初年度としては、目標数を上回る成果を示すことができた。

Web サイトの改修については、デザインだけでなく、本期事業で収蔵した成果を公開する為の新たな管理機能や表示情報の追加を行った。より詳細な情報に対応するため、構造が複雑となり各ページのリリースは段階的なものとなっているが、システムの見直しを含め、今後多様化する収蔵データを見込んだ改修を進めている。また、資料提供依頼において、資料保有者から Web 機能に対する要望も寄せられたため、その意見を反映すべく、継続して来期以降も改修を進める予定である。

事務局体制の整備としては、経費削減と事業の機動的な実施を目的として、第 4 期後期からの委託内容の変更を行い、事務局の拠点を千代田区平河町へ移すこととした。

本期は、事業計画として掲げた前述の 3 点のほか、事業を通じて関係者や企業、団体との連携が実現したことも、今後の活動の拡大に繋がる成果であると言えよう。

2. 事業報告

(1) コンテンツの整備

UIA2011 TOKYO に向けた 2 ヶ年計画の初年度目標であった 2,000 点を超える資料収蔵を実現。また、JIA・KIT 建築アーカイブスとのアライアンスにより、同アーカイブスが保有する資料のうち、デジタル化保存を優先するものの選定とデジタル化作業を実施した。これにより本期は写真資料だけでなく、図面資料約 700 点が Web で閲覧可能となった。その他のコンテンツ制作については、事務局体制の変更や国土交通省補助金事業実施にむけた予算調整のため、第 5 期事業へ先送りすることとした。

① 写真家及び出版社への資料収蔵協力

新建築社、エスエス東京社については包括的な資料収蔵の提案を行い、表彰作品資料収蔵事業において 600 枚以上の資料提供の協力があつた。

同事業では、写真家及び出版社への資料提供依頼も行い、個人写真家については概ね本活動の理解と協力を得られた。しかしながら、一部出版社においては合意を得ることができず、今後の課題が残った。

個人写真家からは、DAAS-Web の表記や資料提供についての意見や要望も寄せられた。その中で実現可能な範囲を検討し、具体的な対応案を一部写真家、並びに日本建築写真家協会へ提示した。それにより、第 5 期の表彰作品資料収蔵事業では、日本建築写真家協会が、登録写真家への資料提供依頼や資料収受等の窓口として協力頂くこととなり、現在、作業方針の具体的な話し合いを進めているところである。

② 動画収録

第 4 期企画部会ビデオ作成ワーキンググループを設置し、撮影候補者やインタビューの検討、インタビュー内容について企画を進め、写真家及び評論家の動画収録案を委員会に提出した。(添付 1) 撮影については第 5 期を予定している。

③ 収蔵作品の解説等の掲載

資料収蔵の拡大実現を第 4 期の柱としていたため、資料解説等、資料を活用したコンテンツの新規企画については先送りとなった。

④ 第 3 回デジタル卒業設計大賞の実施。

先期に引き続きデジタル卒業設計大賞を実施した。選考委員の難波和彦氏が 3 点を入賞作品として選考し入賞者を東京大学難波研究室での懇親会に招いた。入賞者のプレゼンテーションに対して、難波氏、三塩達也運営委員長からの講評が行われ、その後賞状と「デジタル卒業設計大賞 難波賞」の副賞が授与された。(添付 2)

先期よりの募集要項の変更に伴い、応募作品数が年々減少傾向であるため、今後の対応策として学生への告知方法等、広報の見直しを行う予定である

⑤ 国土交通省補助事業の活用によるコンテンツ整備

(社) 日本建築学会、(社) 日本建築士会連合会、(社) 建築士事務所協会連合会、(社) 日本建築家協会、(社) 建築業協会の各団体が主催する表彰事業の受賞作品資料と、まちなみ・景観に関する資料の収蔵を併せて行った。(添付 3)

各受賞作品の設計者に、資料提供の依頼を行い、それにより提供された資料の撮影者(写真家)に対して、DAAS からデジタル化の許可と資料公開の可否について確認を行った。撮影者の了解が得られた資料についてはデジタルデータ化を進め、撮影者不明のデータについては、Web で thumbnail 画像を公開し情報提供を呼びかけることとした。一部撮影者からは、積極的な協力も得られ、撮影者自身が保有する高解像度データ、色補正済のデータの提出を直接受領することもあった。これらの資料を Web で掲載する際に、協力頂いた設計者や写真家、団体名等を明記するため、「建築情報提供者」「資料提供者」を Web 表示に追加した。

⑥ 住宅団地・まちなみ等に関するコンテンツ整備

JIA・KIT 建築アーカイヴスからの協力により、同アーカイヴスが所有するまちな

み図面のデジタル化を行った。

長尺の図面資料の表示のため、これまでの画像サイズである thumbnail(80×60pixel)、QGVA(320×240pixel)サイズの画像以外に、VGA(短辺 640pixel) 画像の表示に対応できるよう Web 機能の変更を行った。VGA 画像は Web での無料会員登録により閲覧が可能となるよう設定している。(本機能のリリースは第5期始めを予定。)

⑦ JIA・KIT 建築アーカイヴスとのアライアンス (デジタル化収蔵と資料公開)

JIA・KIT 建築アーカイヴスで現物保存している資料のうち、前述のまちなみ関連資料だけでなく DAAS が既に収蔵している建築作品の関連資料、受賞作品資料の提供協力を得ることができ、各資料のデジタル化を行った。その総数は約 700 点となった。

現物資料の保全とデジタル資料の保全という、各アーカイブの特長を生かし、連携して収蔵資料事業の拡大を図るため、権利者自身による保存が困難な資料提供の申し出があった場合には、内容を精査した上で、JIA・KIT 建築アーカイヴスへの収蔵の紹介と、DAAS でのデジタル化収蔵の紹介を併せて行っている。実際の資料については協議中ではあるが今後の活動の拡大に繋がる連携が進んでいるといえよう。

(2) Web サイトの改善

今後の情報提供の複雑さ、多様さを見込み、Web サイト全体の刷新を継続して実施している。本期は、「検索のしやすさ」「資料の見やすさ」「管理のしやすさ」を目的として、検索機能の充実、デザイナーによる Web サイトのデザイン改修、管理機能の拡張と新機能の追加が行われた。

検索機能は、地図、年代、地域、カテゴリー、表彰等の各検索項目を追加した。地図検索機能の詳細画面以外は改修が完了している。

検索機能の充実を進める一方で、デザイン面では、資料の見やすさを目的としたシンプルな画面への改修を行った。検索以外の静的ページのデザインも一新することとし、新規ページ随時移行する予定である。また、静的ページのコンテンツの追加・更新が簡便となるよう機能面でも変更を進めている。

管理機能については、資料情報、ユーザー管理、個人や団体情報管理、等で大幅な改修を行った。個人情報、団体情報については、年代毎の名称変更や所属変更に対応し、Web 表示の切り替えが行える機能が追加された。建築情報には、これまでの情報に加え「現存・危機・消滅・不明」が表示可能となっており、今後 Web の閲覧者に対して建物の現況情報を求める表示が追加される。また、新規機能の一つとして、権利者が非公開画面へアクセスし、資料公開状況の確認と公開・非公開の回答を行う機能も実装されている。これにより資料提供に関しての許諾確認が簡便となる。

設立時からの課題であった Web サイトの英語化については、新たにデザイン改修されたページの英語化を含め、第5期前半リリースを目指し進めている。

（３）基本システムの運営・管理

資料情報表示機能の改修に伴い、設立当初の諸元データの揺れや調整を行った。

Web サイトの更新とデータ収蔵サーバの管理や保守については、慶應義塾大学へ一任しているが、今後も引き続き管理、運営を依頼する一方、データ収蔵サーバの更新にむけて管理方法の見直しや機器の検討を始めている。また収蔵資料が増加することを見込み今後の基本システムの運営方法（関連資料やデータの維持管理）を見直し、資料提供者や資料管理者がより積極的に関われるための管理改修も進めている。

（４）法人化準備 事務局体制の整備

第 3 期後期より財団法人ベターリビングに事務業務を委託し主に国土交通省補助事業実施のための体制整備を行った。第 4 期後期にはベターリビングの移転と移転先の床面積の縮小に伴い同財団内に置いていた事務局を千代田区平河町に移転した。（添付 4）委託契約については見直しを行い、常勤職員の雇用のみを残すこととした。経費削減と機動的な事業の実施を図ることで、2 カ年計画としている表彰作品収蔵事業完了後に法人格を取得することを目指す方針を委員会で示した。

（５）会員向けサービスの強化、事業費の確保

会員向けサービスとしては、会員リンクのロゴ表記が実装された。コンテンツホルダーに提供するサービスについては、提供者や管理者自身が資料追加、情報修正する機能を実装した。資料追加機能については、Web 公開用の電子透かしの自動付与等のセキュリティ面での機能拡張が必要なため、リリースについては次期となる予定である。また、写真家にヒアリングを行い、資料提供者用ページ（ポートフォリオ機能）の作成、資料保全のためのサーバ貸出等の要望があることを確認したため、実現可能なサービスを検討し、第 5 期での改修を進めたい。

会員拡大としては、第 5 期より 1 社の入会手続きを進めており、また、有償の収蔵データ利用については、鹿島出版会、明治村等の申込みがあった。

（６）DAAS の広報・実空間展示等の企画立案

会員団体が主催する全国大会での展示、デモンストレーション、を実施した。

2010 年 3 月 26 日 運営委員会資料
DAAS ビデオ作成 WG
DAAS 事務局

第 4 期ビデオ作成 WG 企画・進捗報告

第 4 期ビデオ作成 WG では「参加して頂く組織の背景に基づいた撮影者の人選と企画提案」「撮影者パースペクティブの検討」を目的とし、委員の参加協力を得て、撮影候補者の検討を進めている。第 1 期からの撮影対象者を参考として（「これまでの経過」表参照）、第 4 期は「写真家」「編集者」等メディア領域で建築に関わった方を検討しているが、同時に、今後強化すべき「街並み」資料の一部としてビデオコンテンツ作成を検討した上で、以下 4 人の方々を本期（2010 年 9 月まで）の撮影候補者としている。

1. 村井修（むらいおさむ）氏 【写真家 1928 年愛知県生まれ 82 歳 ※JIA 推薦】
村井氏が撮影された建築家は丹下健三氏、白井晟一氏、宮脇檀氏、等。2 月中旬に DAAS の事業協力のため挨拶に伺い、ビデオについても簡単な説明を行った。現在協議中。
2. 二川幸夫（ふたがわゆきお）氏 【写真家 1932 年大阪市生まれ 78 歳 ※JIA 推薦】
「日本の民家」（伊藤ていじ氏との共著）といったジャンルのほか、現代建築の最新取材を行い、出版社 GA を通じて情報流通の中心的存在。
3. 植田実（うえだまこと）氏 【編集者・評論家 1935 年東京生まれ 75 歳 ※JIA 推薦】
1960 年代の「建築」から「SD」、「都市住宅」、「GA Houses」、「住まい学体系」へと 50 年に及ぶ編集者として、また「集合住宅物語」、「都市住宅クロニクル 1、2」（みすず書房）など著作者として長いキャリアを通じて日本の現代の建築を見続けてきた。
4. 宮本忠長（みやもとただなが）氏 【建築家 1927 年信州生まれ 83 歳 ※JIA 推薦】
大学時代から佐藤武雄氏に師事。1964 年に郷里須坂に戻り、須坂から全国に地域発の建築設計を発信する一方、隣町の小布施で曳き家や部材再利用、空間の再構成によるまちづくりを長期間にわたり継続してきた。

※ただし、「街並」に関する資料収蔵については、建築家の関わりのほかハウスメーカーや住宅生産団体連合会の WG へ参画をお願いし「戸建て住宅団地等」のコンテンツの企画にも繋げられるのでは、という案もあり、第 4 期撮影対象者をメディア領域の方 2 名にするか、メディア・街並みとするか検討中である。

（これまでの経過）

時 期	ジャンル	撮影対象者	Interviewer	推薦会員
第 1 期	建築家・設計者	池原義郎（建築家）	橋本純（新建築社）	（事務局推薦）
	同 上	林昌二＊諸般の事情で延期	橋本純（新建築社）	（事務局推薦）
第 2 期	建築家・設計者	古谷誠章（建築家）	中田千彦（事務局） ※画面に登場せず	（事務局推薦）
	同 上	難波和彦（建築家）	橋本純（新建築社）	（事務局推薦）
第 3 期	組織設計事務所	池田武邦（元長崎総合科学大学教授）	三塩達也（事務局） ※画面に登場せず	日本設計 （WG により決定）
	研究者	内田祥哉（東京大学名誉教授）	松村秀一・井出建 ※画面に登場せず	積水ハウス （WG により決定）

2010年3月26日運営委員会資料
DAAS事務局

デジタル卒業設計大賞 2009 懇親会報告

第3回目の開催となるデジタル卒業設計大賞は、2009年春までに大学を卒業、大学院を修了した人を対象に昨年秋に募集を行いました。

審査は二段階に分けて行われ、まず応募作品から3点を入賞作品として選考しその後、入賞者を招いての懇親会が行われました。

本期はDAAS理事、東京大学教授で建築家の難波和彦氏に選考委員として入賞作品を選抜頂き、懇親会は3月9日（火）東京大学難波研究室で行われました。入賞者によるプレゼンテーションと難波氏、三塩運営委員長からの講評の後、各受賞者に賞状と「デジタル卒業設計大賞 難波賞」の副賞を授与いたしました。「デジタル卒業設計大賞 難波賞」は入賞作品の中から総合的に最も優れた作品に対して授与される賞ですが、本期は難波氏の意向で入賞者3名全員に授与されました。

入選した作品はDAAS Web サイトへ収蔵され公開されます。また、懇親会の模様はビデオ映像として公開する予定です。

「デジタル卒業設計大賞 2009」懇親会実施概要

会 場： 東京大学工学部建築学科 難波研究室

日 時： 2010年3月9日（火） 13:30 から

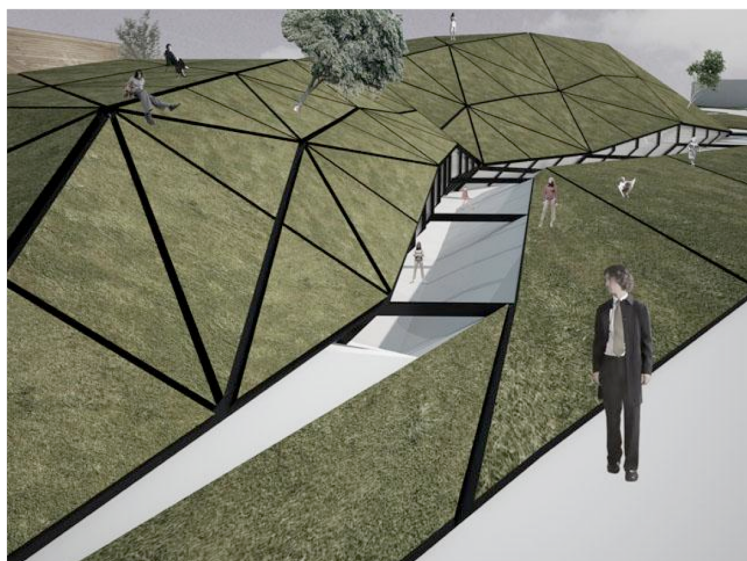
審査員： 難波 和彦（DAAS理事・建築家・東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授）

アドバイザー： 槇 文彦（DAAS理事長・建築家）

入賞者： 坂東 幸輔（ハーバード大学大学院GSD）「Respect for Blank Space」

香月 真大（早稲田大学石山研究室）「Architecture of Emotional」

二本柳真里江（京都造形芸術大学建築デザインコース）「SPA MINAMO」他



坂東幸輔

Respect for Blank Space

<http://www.autoxic.com/works/010-respect-for-blank-space/>

2002年 東京芸術大学美術学部建築科卒業

2008年 ハーバード大学大学院デザインスクール修了

この建築は決まった形態を持たない。空間を使用する人間の数によって常に変化し続けるのである。持ち上げられた地面はその下に会議室やレクチャーホール、劇場などに使用するための内部空間を作り上げる。この建築は人間のアクティビティによってデザインされる新しい形の建築となる。



香月真大

Architecture of Emotional

<http://masahirokatsuki.blogspot.com/>

早稲田大学石山研究室

The library composed only of human feelings based on the Jung phycology mandala and the religious. Human has become a machine by architectural retionalizing and doing architecture that value the economy from the Industrial Revolution. Architecture where human can live really comfortably is not live int the mass-produced mechanical architecture. It is necessary to integrate the machine and the spirit.



二本柳真里江

SPA MINAMO

<http://award.daas.jp/2009/marie213>

京都造形芸術大学建築デザインコース

11枚の壁を敷地に等間隔にたて、ランダムにめくりあげ、上部をウェーブさせる。多様な陰影の空間があらわれる。

(添付3)

2010年3月26日運営委員会資料

DAAS 事務局

表彰作品資料収蔵作業報告

表彰作品資料収蔵については、3月中旬に一般社団法人担い手支援機構への委託業務報告書を提出しており、大日本印刷とエスエス社への資料の入稿、関係者・権利者への許諾確認については概ね完了した。今後は、資料返却、WEB掲載、関係者・権利者へのテストページ送付による公開確認作業等を4月以降も継続して行う予定である。3月24日現在の収蔵予定数及び今後の作業内容について以下の通りである。

■作業状況報告 (2010年3月24日現在)

・写真資料収蔵予定 (作品総数1548作品)	341作品:1885枚
・図面資料収蔵予定 (表彰、街並み等)	31作品:635枚
・その他関連資料	6作品:43枚
・資料収蔵総合計	<u>2060枚以上</u>
・写真資料Web公開不可連絡	36枚
(写真家公開不可回答27枚/オーナー公開不可回答9枚)	
・回答受領設計事務所件数	(依頼数63社) 30社
・写真家の公開について回答数	(依頼数66名) 63名

※ デジタルデータ受領分は関係者への確認後、公開数減少またはサムネイル表示のみの制限が予想される。

■今後の作業スケジュール

・写真資料返却	2010年4月下旬完了予定
・デジタルデータの最終納品	2010年5月中旬完了予定
・関係者へのtestページ送付	2010年5月中旬完了予定
・新規WEBサイトでの公開作業	2010年5月中旬完了予定

※ 今後の作業については、2ヶ月の継続作業として財)ベタリーピングに雇用を依頼。

■DAAS事業委託費用内訳

ベタリーピング委託費用	(臨時雇用2名費用)	6,500,000
大日本印刷デジタル化費用		1,410,000
エスエス社デジタル化費用		520,000
その他費用	(郵送費及び旅費)	700,000
総合計		8,500,000

2010 年 6 月 25 日
DAAS 事務局

DAAS 事務局移転について

DAAS の事務局については、これまで、財団法人ベタリービングに事務局業務を委託し、当該財団と同じビルに事務局を置いてきたところですが、財団のオフィスが移転することとなり、移転先のオフィスが手狭となることから DAAS 事務局を以下の住所に移転することといたしました。併せて、財団法人ベタリービングとの委託契約を見直すこととしています。具体的には、委託内容を常勤職員の雇用・出向に限り、その他の事務については、DAAS が直接実施することとしています。この結果、財団の支援は限られたものとなる一方、一部経費の節減、事業の機動的な実施等が図られるものと考えています。

移 転 日：2010 年 7 月 1 日（金）

新 住 所：東京都千代田区平河町 2-3-11 花菱平河町ビル 4F

（※尚、規約上の事務局住所は千代田区で変更はございません。

その他詳細については別途ご案内申し上げます。）



第4期(2009-2010年度)収支決算

資料2

2009年10月1日から2010年9月30日まで

(単位:円)

科目	予算額(a)	執行額(b)	差異(a-b)
I. 事業活動収支の部			
事業活動収入			
1. 会費・入会金収入	13,970,000	12,490,000	1,480,000
企業会員	8,940,000	7,860,000	1,080,000
団体会員	5,000,000	4,600,000	400,000
学術・教育機関会員	30,000	30,000	0
個人会員	0	0	0
2. 事業収入	9,800,000	8,510,000	1,290,000
記録作成業務受託収入	9,750,000	8,500,000	1,250,000
コンテンツ有償利用料	50,000	10,000	40,000
3. その他収入	0	2,675	△ 2,675
受取利息	0	2,675	△ 2,675
雑収入	0	0	0
事業活動収入 計	23,770,000	21,002,675	2,767,325
事業活動支出			
1. 事業費支出	22,450,000	15,579,163	6,870,837
WEBサイト改修委託支出	3,000,000	1,995,000	1,005,000
イベント事業支出	300,000	243,115	56,885
コンテンツ整備事業支出	6,000,000	1,190,953	4,809,047
記録作成事業	9,750,000	8,565,143	1,184,857
保守費支出	3,400,000	3,584,952	△ 184,952
2. 管理費支出	5,300,000	4,951,226	348,774
事務所経費	600,000	3,948,279	△ 3,348,279
人件費	4,100,000	0	4,100,000
旅費交通費支出	200,000	225,400	△ 25,400
機材費支出	100,000	177,350	△ 77,350
渉外費	100,000	5,510	94,490
会議費(含総会)支出	50,000	124,164	△ 74,164
租税公課支出	50,000	3,600	46,400
雑費	100,000	466,923	△ 366,923
事業活動収支 計	27,750,000	20,530,389	7,219,611
事業活動収支差額	△ 3,980,000	472,286	△ 4,452,286
II. 投資活動収支の部			
投資活動収入			0
修繕引当預金取崩収入	3,400,000	3,907,524	△ 507,524
投資活動収入 計	3,400,000	3,907,524	△ 507,524
投資活動支出			0
修繕引当預金取得支出	1,700,000	2,022,937	△ 322,937
投資活動支出 計	1,700,000	2,022,937	△ 322,937
投資活動収支差額	1,700,000	1,884,587	△ 184,587
III. 財務活動収支の部			
財務活動収支差額	0	0	0
IV. 予備費支出			
予備費支出	466,712	0	466,712
当期収支差額	△ 2,746,712	2,356,873	△ 5,103,585
前期繰越収支差額	2,746,712	2,746,712	0
次期繰越収支差額	0	5,103,585	△ 5,103,585

監 査 報 告 書

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム規約第 15 条第 4 項の規定に基づき、建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアムの第 4 期(2009-2010 年度)(2009 年 10 月 1 日から 2010 年 9 月 30 日まで)の業務報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録について監査を行った結果、正確かつ適正であることを認めます

2010 年 10 月 14 日

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム監事

社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長

三栖 邦博

印



2010 年 10 月 14 日

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム監事

社団法人 建築業協会 会長

山内 隆司

印



議案2 第5期(2010-2011年度)事業計画
及び収支予算について

資料4 第5期(2010-2011年度)事業計画

資料5 第5期(2010-2011年度)収支予算

第 5 期（2010-2011 年度）事業計画

1. 基本方針

第 5 期末の 9 月に東京で開催される「UIA2011 TOKYO」にむけて、国内で公に評価された建築・街並み・景観に関する資料の収蔵目標数を設定し、資料拡充に努める。

また、アーカイブ活動の普及、周知のためのコンテンツ制作と広報活動を行い、広く国内外に活動の目的を示し、企業、団体、個人に対して、アーカイブ活動への協力と支援を呼びかける。

また、閲覧者数の増加を図るため、Web のデザイン変更、機能拡張を継続して行い、英語化作業については新規デザインに対応した英文サイトの制作を完了する。

2. 事業計画

(1) コンテンツの整備

第 3 期から継続している表彰事業受賞建築作品の収蔵を進める。また、先期から始動しているオープンアライアンス活動の実績を各アーカイブに示し、アライアンスパートナー活動の呼びかけを行うとともに、デジタル化保存が必要な場合は、積極的にデジタル収蔵の提案をし、DAAS の周知に努め、活動の範囲を広げる。

① 写真家及び出版社への資料収蔵協力

エスエス東京、新建築社、日本建築写真家協会など、企業、団体での包括的な資料収蔵の協力を得られたため、先期からの表彰事業受賞作品資料の収蔵を依頼するとともに、表彰作品に限らず、価値ある建築資料についてはデジタル化及び収蔵についての提案を行う。出版社への協力依頼も継続して行う。

② 動画収録

第 4 期に計画した写真家、評論家の収録を実施する。第 5 期も継続してビデオ作成ワーキンググループを設置し、新規の企画・立案を進める。また、広報活動の動画制作なども行い Web に掲載する。

③ 収蔵作品の解説等の掲載

これまでに掲載した収蔵作品等の解説記事を、第 4 期に実施した Web サイトのリニューアルにあわせて掲載する。新規企画についても検討する。

④ 第 4 回デジタル卒業設計大賞の実施。

第 5 期においても、デジタル卒業設計大賞を実施する。参加者への告知方法及びスポンサーの確保等について検討する。

⑤ 国土交通省補助事業の活用によるコンテンツ整備

第5期前半の事業として、先期と同様に国土交通省及び関連団体の支援を依頼し、建築関係団体が主催する表彰事業の受賞建築作品のデータ整理と資料収蔵、アライアンスパートナーの保有する資料についてのデジタル化収蔵を行い、資料総数1万点以上のデジタルアーカイブとなることを実現する。会員団体が主催する表彰事業の受賞建築作品については、昨期までに収蔵した300作品以外の1,200作品について、設計者、設計事務所、写真家、施主等に対して、諸元データの提供、公開の許諾、現物資料（プリント写真、設計原図、ポジ・ネガなどのフィルム等）の提供依頼を行う。提供された現物資料のデジタル化を行い、経年変化の著しいものについては補正を行った上で、権利者とDAASで成果データを共有し、低解像度画像については、DAAS-Webサイト上で公開を前提とした権利関係の処理を進める。

⑥ 住宅団地・まちなみ等に関するコンテンツ整備

これまでに作成したリストに沿って、住宅団地・まちなみ等のデータ収蔵と公開についての方針を検討するとともに、今後収蔵すべき資料のリスト化を進める。

⑦ オープンアライアンス活動（デジタル化収蔵と資料公開）

JIA・KIT 建築アーカイブスで現物保存している資料について、DAASでのデジタル化、及び資料公開を行っているが、この実績を他のアーカイブや資料保有者に示し、活動の協力、連携を広く呼びかける。JIA・KIT 建築アーカイブスで保有する使用のうちデジタル化を優先する資料の検討を行い、スケッチ、図面、写真等のデジタル化保全を進め、関係者との権利調整を行いながらDAAS-Webにて公開を行う。

（2）Webサイトの改善

Webサイト全体の改修を継続して実施する。本期は新規デザインに対応するWebサイトの英語化を進め、また、地図検索機能についての詳細画面を実装する。

（3）基本システムの運営・管理

資料情報の揺れや調整を継続して行い、より正確な情報提供を行えるよう閲覧者からの情報提供も呼びかける機能を実装する。また、DAASが運営するWebサイト（<https://www.daas.jp/>）およびデータ収蔵サーバや機器の管理と運用を引き続き慶應義塾大学に依頼するとともに、収蔵データの増加に対応できるよう、基本システムの運営方法を見直し、データ収蔵サーバの更新についても検討を進める。

（4）DAASの広報・実空間展示等の企画立案

各団体の全国大会での展示、デモンストレーションを行う。また第5期後半では、UIA2011 TOKYO 本大会会場での収蔵資料を活用した活動紹介コンテンツのデモンストレーション、ブース展示等の企画・検討を行う。

(5) 法人化の準備

引き続き一般社団を目指し必要な内部規定の整備等、事務局体制の整備を進める。

(6) 会員向けサービスの強化

DAAS-Web 上に、資料提供者用ページ（ポートフォリオ機能）等、資料提供者が積極的に関われる機能追加を検討する。

(7) その他

その他、DAASの目的に資する活動を実施する。

第5期(2010-2011年度) 収支予算
2010年10月1日から 2011年9月30日まで

(単位:円)

科目	予算額	
I. 事業活動収支の部		
事業活動収入		
1. 会費・入会金収入	12,490,000	
企業会員	7,860,000	
団体会員	4,600,000	
学術・教育機関会員	30,000	
個人会員	0	
2. 事業収入	7,050,000	
記録作成業務受託収入	7,000,000	
コンテンツ有償利用料	50,000	
3. その他収入	0	
受取利息	0	
雑収入	0	
事業活動収入計	19,540,000	
事業活動支出		
1. 事業費支出	18,300,000	
WEBサイト改修委託支出	1,500,000	
イベント事業支出	1,000,000	
コンテンツ整備事業支出	7,000,000	
記録作成事業	7,000,000	
保守費支出	1,800,000	
2. 管理費支出	5,810,000	
事務所経費	600,000	
人件費	4,100,000	
旅費交通費支出	350,000	
機材費支出	150,000	
通信運搬費支出	100,000	
渉外費支出	100,000	
会議費(含総会)支出	100,000	
租税公課支出	50,000	
会計士外部委託費支出	160,000	
雑費支出	100,000	
事業活動支出計	24,110,000	
事業活動収支差額	▲ 4,570,000	
II. 投資活動収支の部		
投資活動収入		
修繕引当預金取崩収入	1,800,000	
投資活動収入計	1,800,000	
投資活動支出		
修繕引当預金取得支出	1,800,000	
投資活動支出計	1,800,000	
投資活動収支差額	0	
III. 財務活動収支の部		
財務活動収支差額	0	
IV. 予備費支出		
予備費支出	533,585	
当期収支差額	▲ 5,103,585	
前期繰越収支差額	5,103,585	
次期繰越収支差額	0	

注)この予算書は消費税込みで計算しております

議案3 理事・監事選任の件

資料6 第5期・第6期 理事・監事名簿

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)
第 5 期・第 6 期 理事・監事名簿

(順不同 敬称略)

■理 事

鈴木 博之 (建築史家)
佐藤 滋 (社団法人 日本建築学会 会長)
芦原 太郎 (社団法人 日本建築家協会 会長)
樋口 武男 (社団法人 住宅生産団体連合会 会長)
立石 真 (財団法人 日本建築センター 理事長)
三栖 邦博 (社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長)
山内 隆司 (社団法人 建築業協会 会長)
隈 研吾 (建築家)
難波 和彦 (建築家)
古谷 誠章 (建築家)
六角 鬼丈 (建築家)
池原 義郎 (建築家)
岡本 慶一 (株式会社 日建設計 代表取締役社長)
六鹿 正治 (株式会社 日本設計 代表取締役社長)
吉田 信之 (株式会社 新建築社 代表取締役)
能登 義春 (大和ハウス工業株式会社 取締役上席執行役員)

■監 事

藤本 昌也 (社団法人 日本建築士会連合会 会長)
浅野 宏 (財団法人 建築技術教育普及センター 理事長)

報 告

資料7 会員の変更について

資料8 規約第7条第4項に基づく指定代表者の
変更について

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)
会員名簿

資料 7

(順不同 敬称略)

槇 文彦 (建築家)
鈴木 博之 (建築史家)
隈 研吾 (建築家)
六角 鬼丈 (建築家)
難波 和彦 (建築家)
古谷 誠章 (建築家)
池原 義郎 (建築家)
佐藤 滋 (社団法人 日本建築学会 会長)
藤本 昌也 (社団法人 日本建築士会連合会 会長)
三栖 邦博 (社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長)
芦原 太郎 (社団法人 日本建築家協会 会長)
山内 隆司 (社団法人 建築業協会 会長)
樋口 武男 (社団法人 住宅生産団体連合会 会長)
立石 真 (財団法人 日本建築センター 理事長)
吉田 信之 (株式会社 新建築社 代表取締役)
村重 芳雄 (五洋建設株式会社 取締役社長)
山口 俊男 (株式会社 奥村組 取締役専務執行役員)
六鹿 正治 (株式会社 日本設計 代表取締役社長)
大田 弘 (株式会社 熊谷組 取締役社長)
成川 哲夫 (興和不動産株式会社 代表取締役社長)
永尾 眞 (前田建設工業株式会社 取締役常務執行役員 建築事業本部長)
割田 正雄 (清水建設株式会社 常務執行役員 設計・プロポーザル統括)
平林 文明 (積水ハウス株式会社 取締役 常務執行役員)
野呂 一幸 (大成建設株式会社 常務・設計本部長)
北 泰幸 (株式会社 竹中工務店 常務取締役)
岡本 慶一 (株式会社 日建設計 代表取締役社長)
小林 照雄 (株式会社 大林組 常務執行役員 東京本社 設計本部長)
尾崎 勝 (鹿島建設株式会社 常務執行役員 建築設計本部長)
副島 伸一 (住友不動産株式会社 ビル管理部長)
長島 俊夫 (三菱地所株式会社 代表取締役 専務執行役員)
田中 孝典 (株式会社 山下設計 代表取締役社長)
岡 房信 (三井不動産株式会社 建設企画部長)
佐久間 一 (東京建物株式会社 代表取締役専務取締役 ビル事業本部長)
村井 純 (慶應義塾大学 環境情報学部長 教授)
戎居 連太 (株式会社 連合設計社市谷建築事務所 代表取締役社長)
馬場 栄一 (株式会社 建築資料研究社 代表取締役)
能登 義春 (大和ハウス工業株式会社 取締役上席執行役員)
木原 碩美 (社団法人 日本建築構造技術者協会 会長)
浅野 宏 (財団法人 建築技術教育普及センター 理事長)
川瀬 貴晴 (社団法人 建築設備技術者協会 会長)

2010 年 10 月改訂

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム（DAAS）
法人会員指定代表者変更

（建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム規約 第7条第4項 関係）

（敬称略）

■ 団体会員（選出必須会員）

社団法人日本建築家協会

〈変更前〉 出江 寛（会長）

〈変更後〉 芦原 太郎（会長）

社団法人建築設備技術者協会

〈変更前〉 牧村 功（会長）

〈変更後〉 川瀬 貴晴（会長）

■ 企業会員（業種区分毎に1名以上選出）

【総合建設】

株式会社奥村組

〈変更前〉 神原 裕一（代表取締役 副社長執行役員）

〈変更後〉 山口 俊男（取締役専務執行役員）

興和不動産株式会社

〈変更前〉 名倉 三喜男（取締役専務）

〈変更後〉 成川 哲夫（代表取締役社長）

2010年10月1日付

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム

第2回 理事会

開催日時	2010年10月25日(月) 15:30~16:00
開催場所	都道府県会館 4階 410会議室

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム(DAAS)

第2回理事会次第

開催日時:2010年10月25日(月) 15:30～16:00

開催場所:都道府県会館 4階 410会議室

1 開 会

2 議 事

議案1 役員選任の件(会長・理事長・副理事長)

3 閉 会

議案1 役員選任の件
(会長・理事長・副理事長)

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)

第5期・第6期 役員名簿 (案)

(順不同 敬称略)

■ 会 長

榎 文彦 (建築家)

■ 理事長

鈴木 博之 (建築史家)

■ 副理事長

三栖 邦博 (社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長)

芦原 太郎 (社団法人 日本建築家協会 会長)

■ 監 事

藤本 昌也 (社団法人 日本建築士会連合会 会長)

浅野 宏 (財団法人 建築技術教育普及センター 理事長)

■ 理 事

佐藤 滋 (社団法人 日本建築学会 会長)

山内 隆司 (社団法人 建築業協会 会長)

樋口 武男 (社団法人 住宅生産団体連合会 会長)

立石 真 (財団法人 日本建築センター 理事長)

隈 研吾 (建築家)

難波 和彦 (建築家)

古谷 誠章 (建築家)

六角 鬼丈 (建築家)

池原 義郎 (建築家)

六鹿 正治 (株式会社 日本設計 代表取締役社長)

岡本 慶一 (株式会社 日建設計 代表取締役社長)

吉田 信之 (株式会社 新建築社 代表取締役)

能登 義春 (大和ハウス工業株式会社 取締役上席執行役員)

■ 顧 問

村井 純 (慶應義塾大学 環境情報学部長 教授)